

## 【JIRA新年会が開催されました】

2025年1月8日、大手町のKKRホテル東京 瑞宝の間において、JIRA新年会が開催されました。新年の忙しい中にもかかわらず、会員の皆様、行政・学会・各種団体からのお客様を含め220名程のご参加を頂き盛会となりましたこととお礼申し上げます。

昨年2024年は新年早々に大きな災害と事故があり、被災地の皆様に思いを馳せながらの新年会でした。その復興はまだ道半ばではありますが、その後はパリオリンピックでの日本選手の活躍など明るい話題もありました。

本年新年会は、この2025年をより明るく発展の年としたいとの思いが、登壇された皆様のスピーチや、会場内での会話からも伺え、新たな年のスタートをきるに相応しい会となりました。



お客様をお迎えする (左から) 儀同副会長、瀧口会長、園木副会長、飯田副会長



会場 瑞宝の間全景

## 【瀧口会長より新年の挨拶】

開会にあたり、瀧口会長より新年の挨拶がありました。



瀧口会長は昨年の厳しい状況を振り返りつつ、今年は穏やかな新年を迎えられたことへの喜びを述べました。災害復興が進まず苦しむ方々への思いを胸に刻みながら、2025年は急速な社会の変化に迅速かつ柔軟に対応する必要があると強調しました。

日本の医療産業が、世界に誇る平均寿命を支える重要な役割を担っていることに触れ、今後は国内の枠を越え、グローバルな視点でその力を発揮し、世界の医療や人々の暮らしに貢献することを目指すと述べました。

さらに、「産業ビジョン2030」の第4ビジョンであるグローバル化を推進し、2025年日本行政がIMDRF議長国として国際規制調和をリードすることへの支援を表明しました。

産業界、行政、アカデミアが協力し、日本の医療を支える活動を一層強化する必要性を訴えるとともに、参加者の益々の健康と繁栄、そして日本画像システム工業会のさらなる発展を祈念してスピーチを締めくくりました。

## 【行政ご来賓の皆様よりのご挨拶】

3省庁4名の皆様よりご挨拶を頂きました。

- 内閣府 健康・医療戦略推進事務局次長 竹林 経治 様
- 厚生労働省 医政局 医薬産業振興・医療情報審議官 内山 博之 様
- 厚生労働省 医薬局長 城 克文 様
- 経済産業省 商務情報政策局 商務・サービス政策統括調整官 江澤 正名 様



竹林 経治 様



内山 博之 様



城 克文 様



江澤 正名 様

## 【乾杯】

ご来賓のスピーチに続き儀同副会長が登壇されました。

医療に関して多くの課題が山積みであり、だからこそ産業界がやるべきことが非常に多くあり、業界一丸となって医療の発展と産業の発展を祈念するとのご挨拶の後に、乾杯のご発声がありました。



儀同 副会長

## 【閉会挨拶】



飯田 副会長

皆様の情報交換などが一区切りついたところで飯田副会長が登壇されました。

WHOの紋章にも描かれているヘビが巻きついた杖は、治療の神アスクレピオスのもので、医療とヘビは深い縁で結ばれており、へび年の2025年は医療にとって素晴らしい年になるでしょうとのご挨拶の後に、盛大な3本締めでお開きとしました。